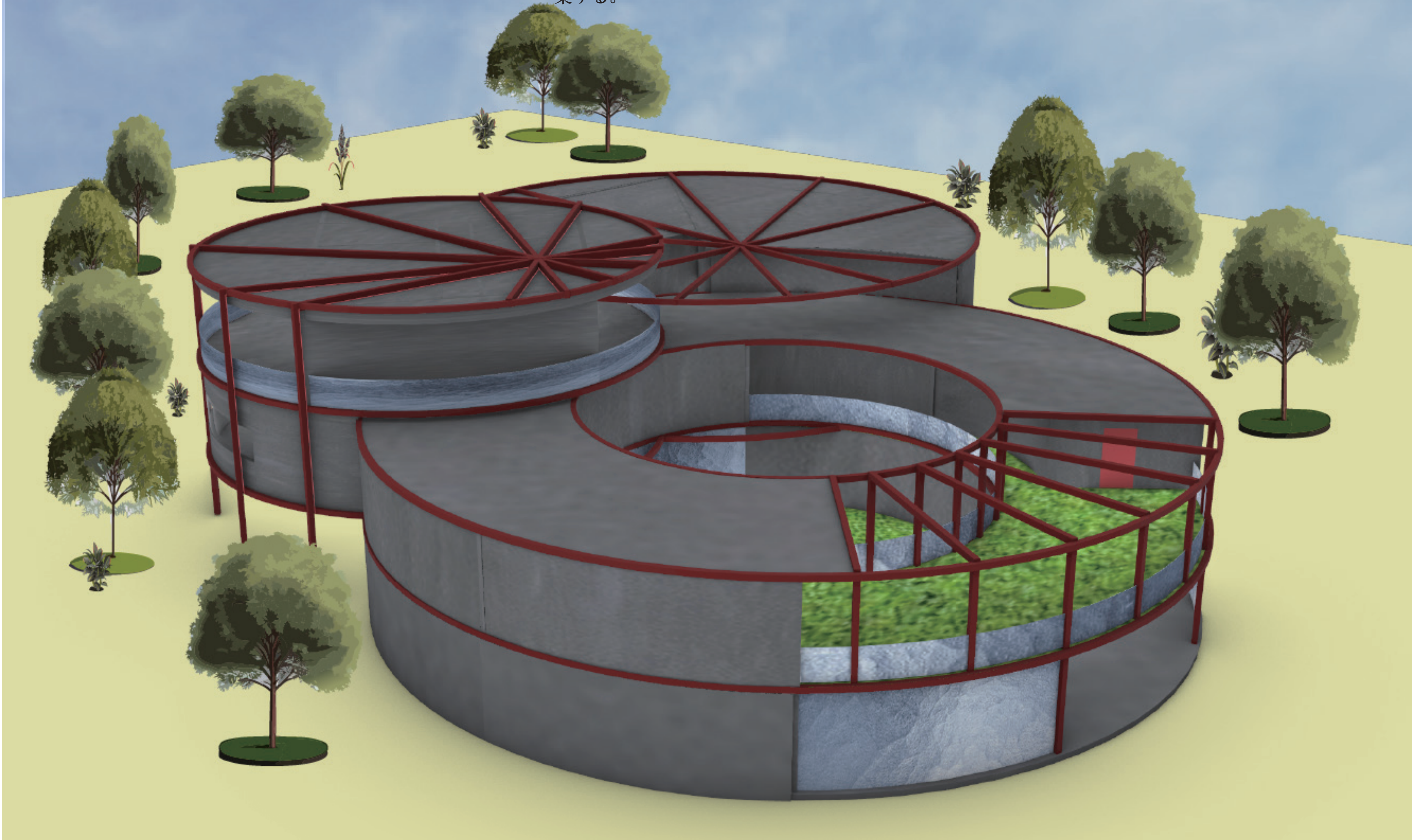


縁する空間

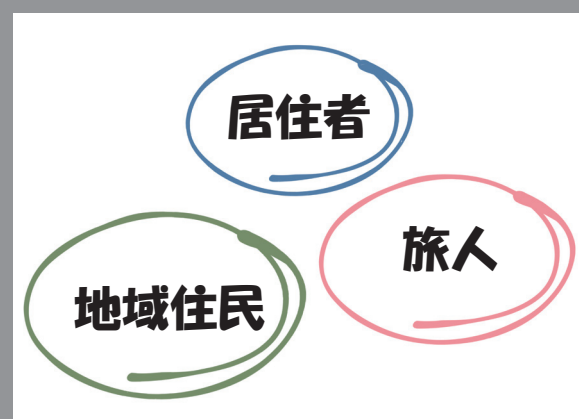
私たちは GL を建築の高さと人の繋がりの深さと結びつけた。面識のない人たちの関係を 0 とする。会話をし、交流することを 1 と捉える。そこから一時的に時間を共にすることを 2 と捉える。そして、協力して何か共にを成し遂げる関係を 3 と捉える。以上の考えを建築に落とし込んだものを提案する。



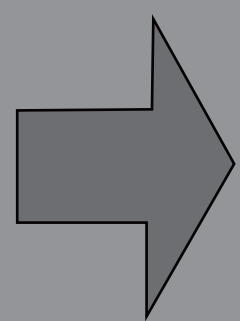
6 人のシェアハウス+最大 5 人の宿泊可能なゲストルーム+誰でも入れる開放スペースを提案する。敷地は、駅の近い場所や大学付近にこの建築を展開させる。シェアハウスにした理由は決まった組織(グループ)でしか人々の関係は築くことができないが、シェアハウスにすることで見ず知らずの人と関係性を深めることができるからだ。さらに宿泊、地域交流の場を設ける理由として 1 つは住宅の概念を壊すためにある。住宅の定義は独立して生活を営むことだが、地域住民の交流もなくなり関係性が 0 になってしまう可能性がある。

地域住民の交流を深め、地域全体を盛り上げることができる。この建物は見ず知らずの 6 人が集まり、展開されるシェアハウスだ。そして、その 6 人によりゲストルームを運営し旅をする人との交流により様々な価値観にふれることができる。また、この建物で行われるイベントなども企画をし地域交流の発展の場にもすることができる。そして建物のレベルが高くなるにつれ人の繋がりの強さを示す。また、レベル差を分けることにより 6 人の居住スペースのプライバシーも確保できる。時間がたつにつれ面識のない 6 人が関係が協力して何かを成し遂げる人間関係の目指すべき形となる。

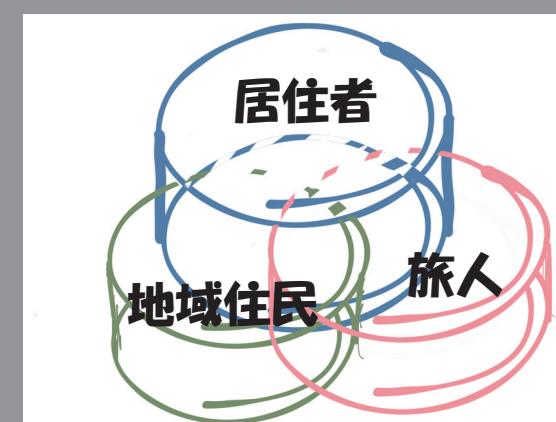
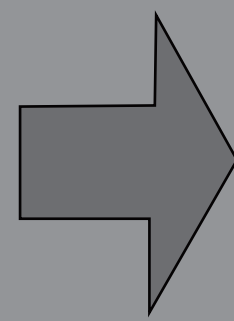
ダイアグラム



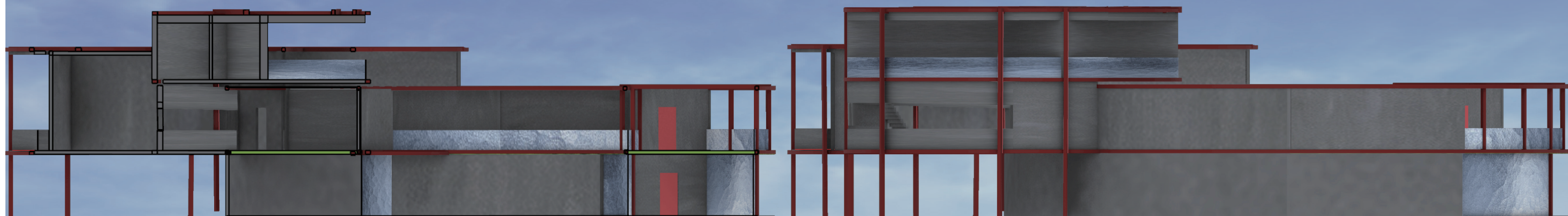
人の繋がりを円と捉える。居住者、旅人、地域住民の 3 つのそれぞれの繋がりを円に示す。



3 つの円を融合させる。これは、3 つの人の繋がりの交流を示す。

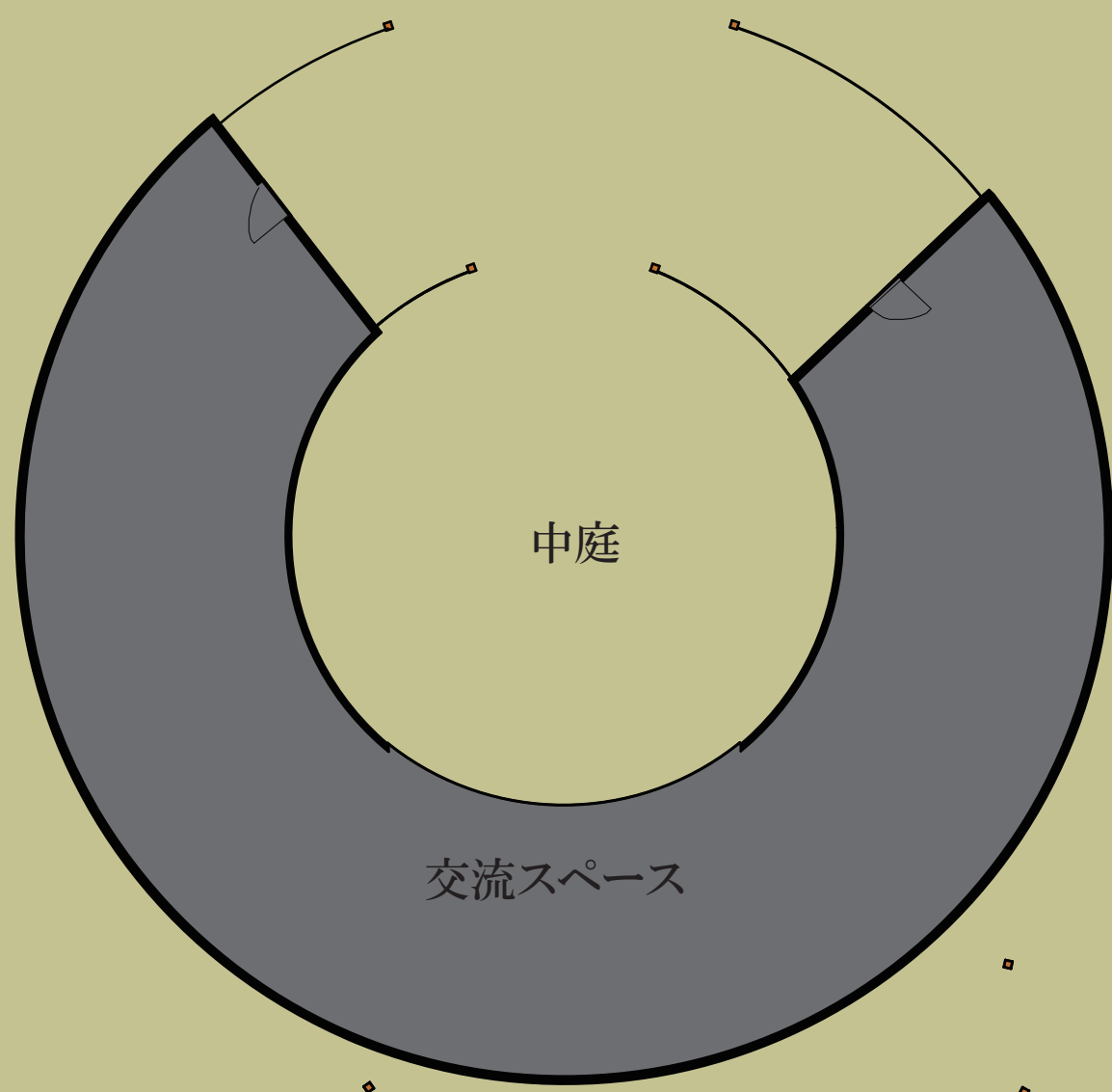


そして、レベル差を出すことにより、この建物の中で人間関係の優位性を示す。



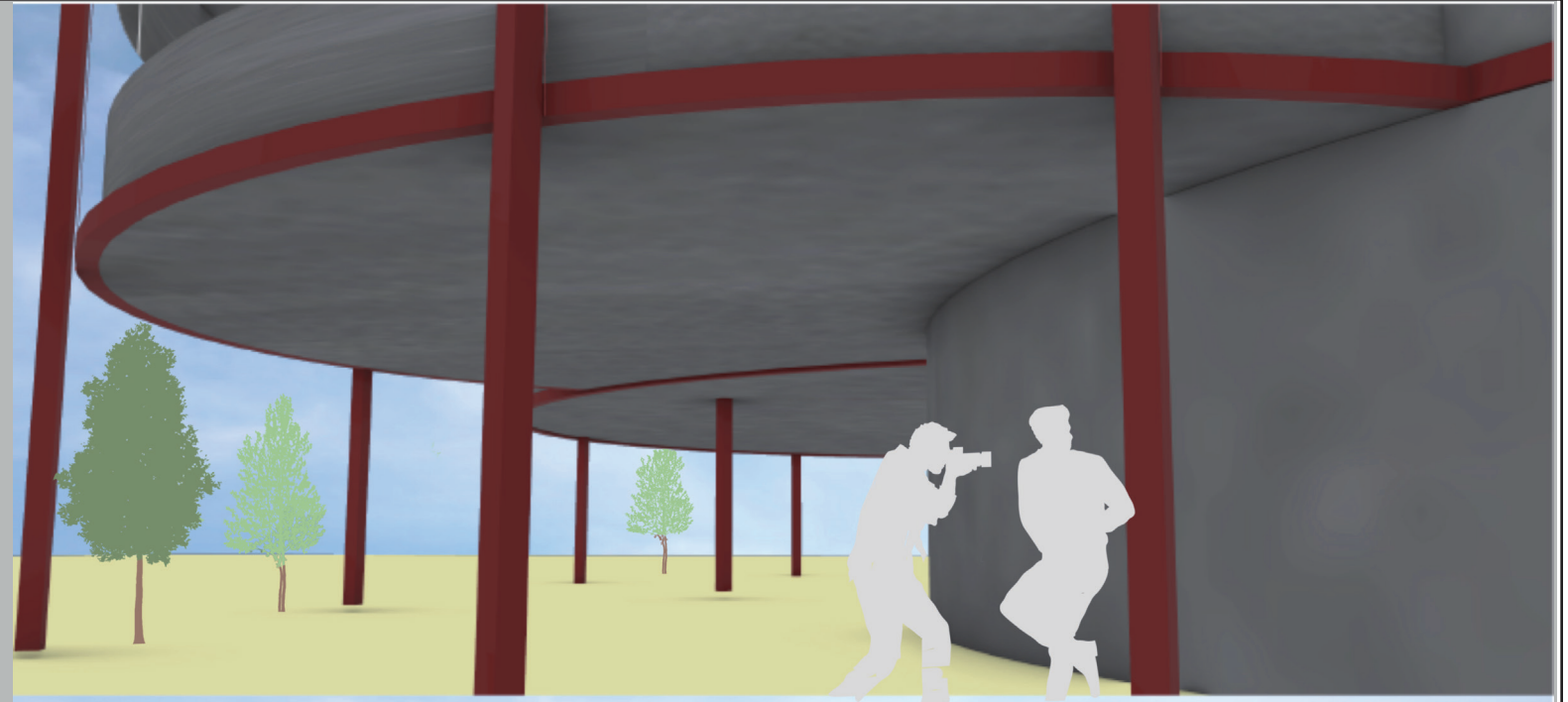
▲ 断面図 s=1:200

▲ 立面図 s=1:200



ピロティ

ピロティ



◀ 1階平面図 S=1:200

▲ ピロティ

- 1階
イベントスペース (ワークスペース)
1階では面識のない人々が集まり、人とのつながりのきっかけとなる空間になっている。イベント以外はワークスペースにもなる
- ピロティ
ピロティには自由にくつろげる空間、イベント時には駐車場にもなる

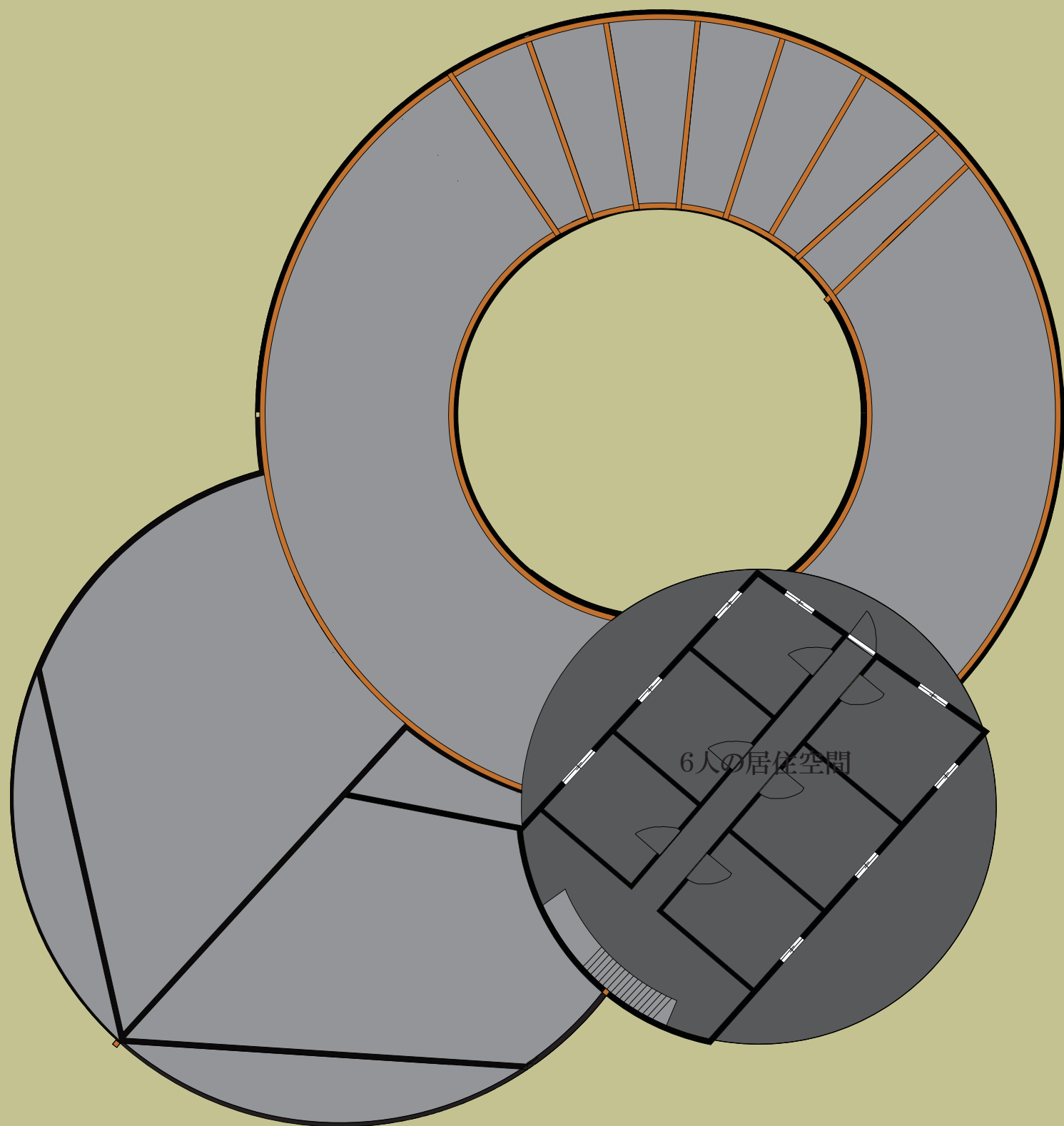
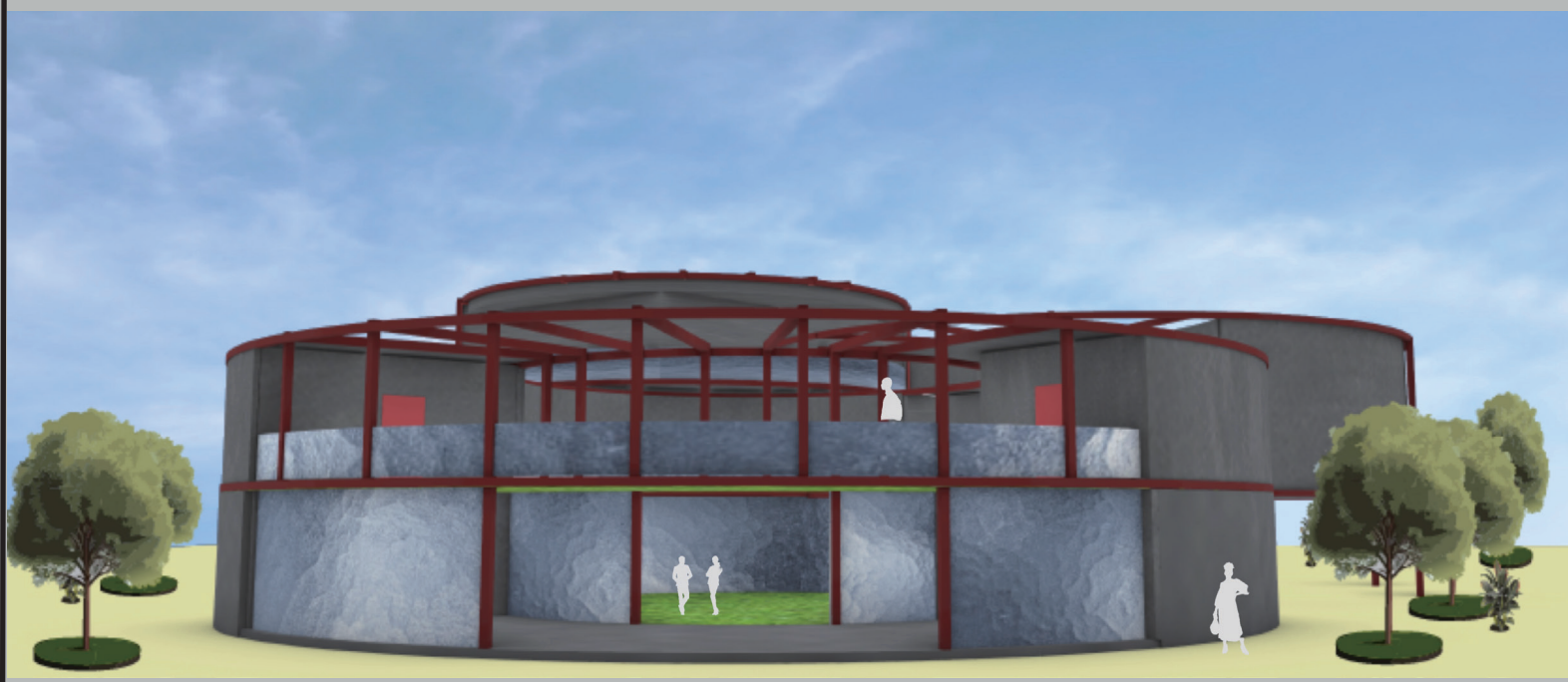
• 2階

庭園

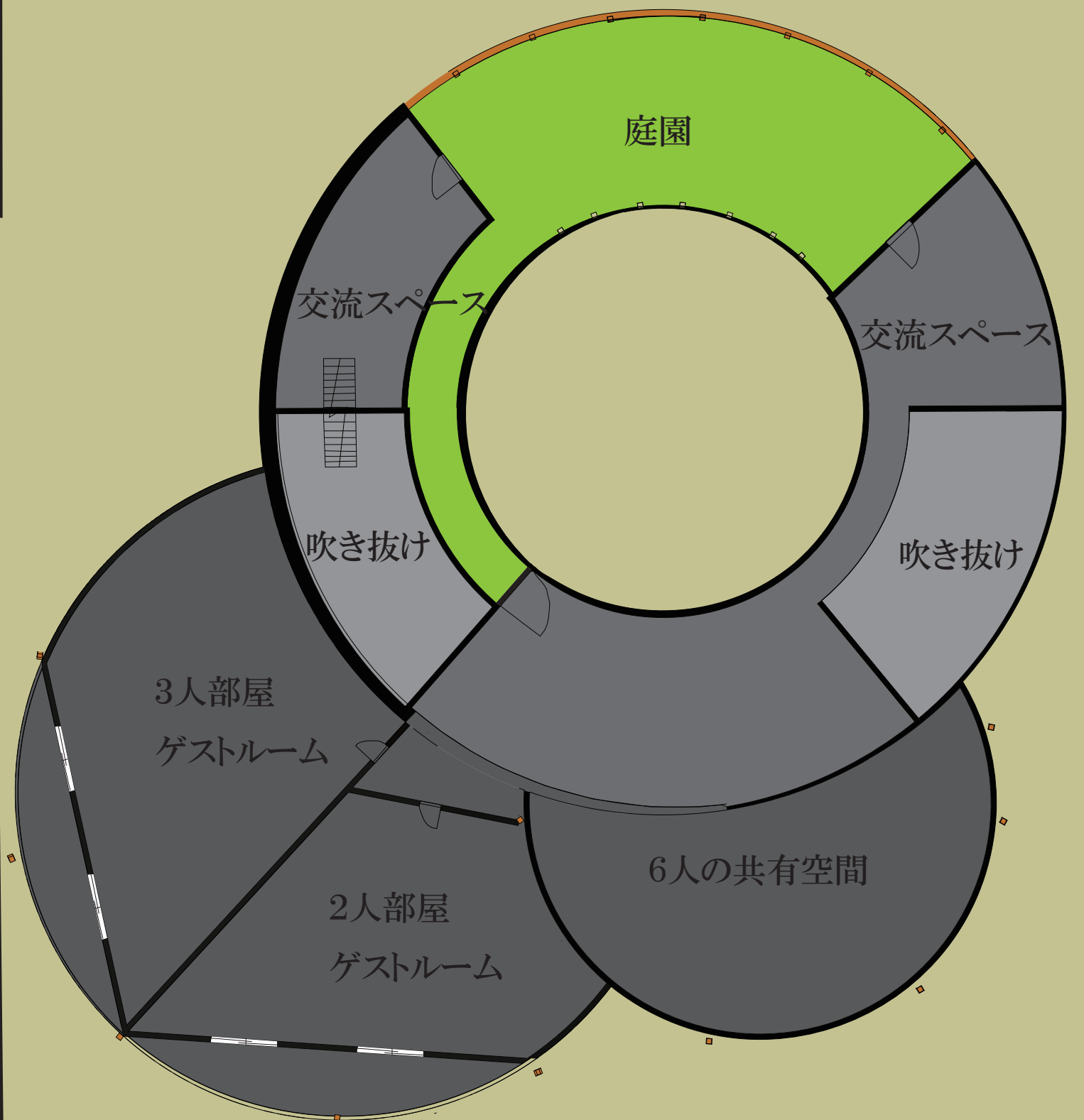
現在の建築は人との交流や、自然からの情報を遮断している傾向にある。例えばエアコンや窓など、快適に過ごせるが外がどのような状況なのかがわからない。そこであえて壁や屋根がない部分を設けて開放的な庭園を展開する。

2階平面図 s=1:200 ▶

▼ 正面パース



6人の居住空間



ゲストルーム (宿泊)

2階にゲストルームを設けることでイベント時にもある程度のプライベートを確保することができる。ゲストルームは見学することができ、イベントに参加した人々も泊まることもできる。

吹き抜け

イベントスペースを眺めることができる

◀ 3階平面図 s=1:200

- 3階
6人が住む居住スペースで3階にすることでよりプライベートな空間になる。

▼ 庭園パース

